

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題2

【「日本一の文教『都市』」をめざした人材育成の取組と海外人材の活用】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で念頭に設定＞

天王寺区は全国学力学習状況調査では、区全体として大阪市平均を上回る傾向にある。
 だからこそ、学校教育以外の部分である、子どもが社会で生きて行く力を育むための「社会教育」の機会が提供されている状態。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

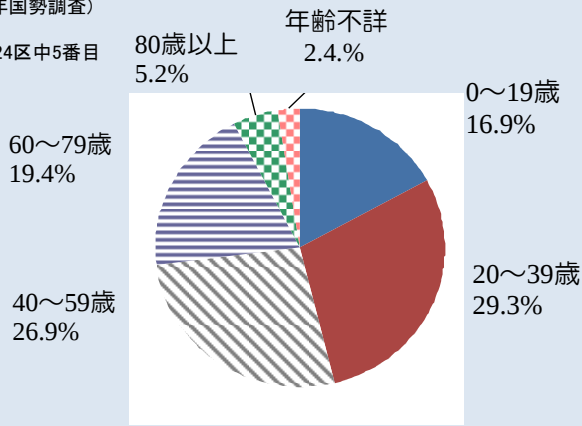
- ・天王寺区は全国学力学習状況調査では、区全体として大阪市平均を上回る傾向にある。
- ・区内人口の約46%が40歳未満で子どもや子育て世代が多い。(22年国勢調査)
- (参考)
- ・平成26年10月1日現在年齢別推計人口より:0～19歳人口割合は 24区中5番目

【平成26年度 学校基本調査】

中学校数 9校(24区中4番目)
 中学校生徒数 5,577名(24区中2番目)
 高等学校数 12校(24区中1番目)
 高等学校生徒数 15,844名(24区中1番目)
 高等学校生徒数は、市全体の約20%を占める。

【待機児童数】

- ・平成26年8月1日時点
天王寺区 25人(他区データ無し)
- ・平成26年4月1日時点
天王寺区 21人
市全体 224人(24区中4番目に多い)
- ・平成25年4月1日時点
天王寺区 19人
市全体 287人(24区中7番目に多い)



区内人口構成
 (平成22年国勢調査による)

【平成26年度「あなたの声をつなげ隊」による意見聴取】

天王寺区の未来人材育成施策・子育て支援施策の主な事業へのご意見(役に立つ・役に立たない)

- 子育てスタート応援事業 役に立つ:267人(88%) 役に立たない:38人(12%)
- 小学生向け社会の仕組みを学ぶ体験学習 役に立つ:264人(87%) 役に立たない:41人(13%)
- 中高生向けインターンシップ 役に立つ:244人(80%) 役に立たない:61人(20%)
- 英語による即興型ディベートスクール 役に立つ:228人(75%) 役に立たない:77人(25%)

※(%)は総数305人に対する割合

・「小学生向け社会の仕組みを学ぶ体験学習」の全市展開へのご意見

全市を対象とした方がよい:182件(73%) 天王寺区民だけでよい:34件(14%) どちらでもよい・その他:33件(13%)

※(%)はご意見数249件に対する割合

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

- ・区内各学校が教育に対する意識の高い保護者、地域と連携して、これまで努力してきた結果、私立の高等学校など多くの学校園が集積していると考えられる。
- ・区における社会教育事業への期待度が高い。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- ・子どもへの重点投資のさらなる促進。
- ・社会教育の充実や子育て世帯の負担緩和など、地域特性を活かした未来を担う人材の育成の強化。
- ・子どもの体験活動への参加機会が減少傾向にあることから、子どもや青少年が、様々な体験、世代を越えた交流の機会や地域でのつながりづくりなどを通じて、心身ともに健やかに成長できるような環境整備。
- ・グローバル社会で生きていく力を養う学習機会の提供。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

- ・子どもの将来のための投資促進のために構築した子育てスタート応援事業については、目標とした申請率は高い水準にあると認識しているが、効果検証を行い、本事業がその後の教育投資につながるかなどを注視していく必要がある。
- ・区役所で取り組む未来を担う人材育成に関する当区事業は順調に執行できているが、希望者・申込者を対象としたものであり、区内児童・生徒全体の人材育成を効果的に進めるには、人材育成の重要性の浸透に向け、事業広報を強化するとともに、学校教育との連携をより一層進める必要がある。そのため、教育行政連絡会や区教育会議で、校長・保護者等から教育に関する課題・ニーズを聴取し、優先的に対処すべきものに予算を配分していくことが必要である。

めざす成果及び戦略 2-1 【地域の未来を担う人材の育成】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞
	・学校教育以外の部分である、子どもが社会で生きて行く力を育むための質の高い「社会教育」が提供されている状態 ・未来を担う人材育成に、乳幼児期から取組めている状態 ・子育てに必要な情報を必要な時に的確に発信できている状態 ・保育所待機児童が解消された状態の継続 ・ロジカルシンキング(論理的思考)の習得機会と、外国の文化等についても理解・尊重できる学習機会とが提供されている状態	・年齢層に応じた社会教育機会の提供とあわせて、社会との関連を継続的に学ぼうと重要である社会貢献ボランティア活動への参画支援。 ・乳幼児期から子どもの体験・教育等の機会を提供することにより、子どもの将来への投資の促進を図る。 ・きめ細やかな情報提供や、子育て支援施設・サービスの利用促進を行うことにより、子育て世帯の子育てに関する様々な悩みや不安の解消を図る。 ・小規模保育事業の実施など、あらゆる手法により、増大する需要を上回る保育サービスの量的拡充を行い、就労を希望する人が仕事と出産・子育てを共に選択できるよう取り組む。 ・中高生を対象として、グローバル社会に対応した学習機会を提供し、英語力の向上、ロジカルシンキング(論理的思考)の習得、外国の文化等の理解・尊重できる能力の向上を図る。
計画	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞	
	・プログラム利用者の満足度 90% 平成27年度【重点目標】 ・乳幼児期から未来を担う人材育成が積極的に進められているまちであると感じる区民の割合 80% 平成28年度 ・子育てに必要な情報を必要な時に的確に得ることができていると感じる子育て世帯の割合 80% 平成27年度【重点目標】 ・保育所待機児童が解消された状態の継続 ・ディベートスクール参加者の満足度 90% 平成27年度【重点目標】 ・留学生との交流参加者の満足度 70% 平成27年度	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	プログラム利用者の満足度(教育委員会へ事業移管し全市展開)	91%	A	A
	乳幼児期から未来を担う人材育成が積極的に進められているまちであると感じる区民の割合 45.0%	57.3%	B	
	子育てに必要な情報を必要な時に的確に得ることができていると感じる子育て世帯の割合 62.6%	—	A	
	保育所待機児童が解消された状態の継続	—	B	
自己評価	ディベートスクール参加者の満足度	94%	80%	A
	留学生との交流参加者の満足度	98%	88%	A
	A：順調 B：順調でない			
自己評価	戦略の進捗状況	b	a：順調 b：順調でない	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
				—

具体的取組 2-1-1 【社会教育機会の充実】★

		25決算額	3,671千円	26予算額	4,172千円	27予算額	1,950千円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	・社会で必要となるスキルを養うため、企業・事業所等で中高生向けインターンシップを導入 参加者数 10名 ・学校・家庭・地域との協働により、小学校4年生から中学・高校生を対象に、地域行事へのボランティア参加や施設体験などを行う天王寺区ジュニアクラブの活動を支援 活動 年5回 ・子ども達(小学生)が仮想の'まち'の住民となり、自分の好きな仕事をしてお金を稼ぎ、遊ぶ感覚で政治・行政・経済といった社会の仕組みや様々な仕事について楽しみながら体験し、自ら学ぶことのできる、家庭や学校以外の第三の学びの機会を提供する取組の全市展開との連携 所管局との連携 随時 ※Kids City!天王寺は平成27年度から全市展開を行うこととなる。			インターンシップ 自分の将来に役立つと感じる参加者の割合 70%以上 ジュニアクラブボランティア等の活動 会員数 新規登録 30人以上 年間1回以上活動に参加した会員数 70人以上 【撤退基準】 インターンシップ 50%未満の場合には事業を再構築する。 ジュニアクラブ 新規会員登録数が20名未満かつ年間1回以上活動に参加した会員数が40名未満であれば募集方法等を再構築する。			
				前年度までの実績			
		平成26年度・インターンシップ10名 ・Kids City!天王寺301名 ・ジュニアクラブ活動回数年5回 平成25年度・インターンシップ11名 ・Kids City!天王寺304名 ・ジュニアクラブ活動回数年5回 ※インターンシップの上記業績目標の割合(26年度90%) ※ジュニアクラブの上記業績目標の割合(25年度新規登録36人・年間1回以上参加会員数71人、26年度新規登録16人・年間1回以上参加会員数43人)					
中間振り返り	業績目標の達成状況		① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		—				
	戦略に対する取組の有効性		—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)			
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	インターンシップ参加者 14名 ジュニアクラブ活動回数 5回(うちボランティア2回) 教育委員会実施の「おおさか☆みらいシティ」へのアドバイス			ジュニアクラブの活動自体が知られていない状況があると考えられるため、事業の周知及び活動プログラムの内容について、より効果的なものとなるよう改善する必要がある。			
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	インターンシップ 自分の将来に役立つと感じる参加者の割合 100% ジュニアクラブボランティア等の活動 会員数 新規登録 24人 年間1回以上活動に参加した会員数 59人		② (i)	現在の手法である広報紙、広報板でのポスター掲示をベースとして、フェイスブックを活用した周知・活動状況の報告、魅力あるプログラムの企画実施により、参加者の増を図る。			
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成						
戦略に対する取組の有効性		○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)				

具体的取組 2-1-2

【子どもの将来のための投資の促進】

		25決算額	— 円	26予算額	7,561千 円	27予算額	9,294千 円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	天王寺区に生まれた子どもを持つ家庭を対象に、乳幼児期から子どもの体験・教育等の機会を提供する仕組みとして子育てスタート応援券を交付する。 (対象者数 720名)			子育てスタート応援券の申請率 80% 【撤退基準】 60%未満の場合には事業を再構築する。 前年度までの実績 平成26年度 交付開始(9月) 平成25年度 制度案の策定			
中間振り返り	業績目標の達成状況		① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成			—			
	戦略に対する取組の有効性		—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)			
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	子育てスタート応援券の交付 764名			—			
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	子育てスタート応援券の申請率 98%			① (i) ①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組は予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組は予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性		○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)			

具体的取組 2-1-3

【子育て関連情報発信の充実】★

		25決算額	— 円	26予算額	3,680千 円	27予算額	2,260千 円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	・スマートフォンアプリを使って子育てに必要な情報を子育てに忙しい養育者が、いつでもどこでも手軽に知ることができる利用者の立場に立った子育て情報を提供する「子育てナビゲーション事業スマートフォン・アプリケーション版」を実施する。 (通年実施) ・子育て支援施設やサービスの利用促進を図るため、子育て支援機関が子育て世帯に直接取組内容を説明する場を提供するとともに、子育ての専門家等によるワークショップを通じて子育て世帯の交流機会を提供する「子育て情報博覧会」を開催する。 (年1回 300名)			・子育てナビゲーション事業 ダウンロード件数 年1,000件以上 ・子育て情報博覧会 参加者の満足度 80%以上 【撤退基準】 ・年500件未満の場合には事業を再構築する。 ・60%未満の場合には事業を再構築する。 前年度までの実績 ・子育てナビゲーション事業 平成26年度新規事業 平成27年2月配信開始 ・子育て情報博覧会 平成26年度新規事業 平成27年2月実施			
中間振り返り	業績目標の達成状況		① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成			—			
	戦略に対する取組の有効性		—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)			
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	・子育て情報アプリ「ぎゅっと!」(子育てナビゲーション事業スマートフォン・アプリケーション版)の通年配信 ・子育て情報博覧会の開催:1回(参加 165世帯)			—			
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	・子育てナビゲーション事業 ダウンロード件数 1,130件(累計1,635件) ・子育て情報博覧会 参加者の満足度 88%			① (i) ①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組は予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組は予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性		○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)			

具体的取組 2-1-4

【保育サービスの充実】

		25決算額	—	円	26予算額	—	円	27予算額	—	円
計画	取組内容				業績目標（中間アウトカム）					
	区内の保育ニーズに対応するために、保育所等の誘致をはかる。 所管局へのはたらきかけ 随時				保育所待機児童の解消 【撤退基準】 保育所待機児童が解消されなければ、事業を再構築する。					
					前年度までの実績					
					平成26年度 平成26年4月1日時点待機児童数 21人 ・保育所本園整備 1園 ・小規模保育施設の開設 1カ所 平成25年度 平成25年4月1日時点待機児童数 19人 ・保育所本園整備 1園 ・保育ママの開設 3カ所					
中間振り返り	業績目標の達成状況				② (i)					
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成				課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 今後も所管局に働きかけ、保育所等の誘致を図る。					
	戦略に対する取組の有効性				— ○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)					

自己評価

取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
区内の保育ニーズに対応するために、保育所等の誘致をこども青少年局へ適時はたらきかけた。 ※参考 保育園開設 1ヶ所		潜在的な保育ニーズ、年度途中での入所、規模の大きいマンション建設に伴う保育ニーズへの対応が必要。	
業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
平成28年4月1日時点での待機児童数 27人	③	小規模保育事業の実施及び連携圏の確保、保育所数の少ない南部地域への保育所誘致など、高まる保育ニーズに対応できるように今後もこども青少年局に働きかける。	
平成27年4月1日時点での待機児童数 11人			
①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成			
戦略に対する取組の有効性	×	○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組 2-1-5

【英語による即興型ディベートスクール事業】★

		25決算額	— 円	26予算額	4,200千 円	27予算額	4,110千 円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	区内に在住または在学する英語に自信のある中学生・高校生を対象として、英語によるコミュニケーション能力を強化するとともに、留学生等との交流を通じて外国の文化についても理解・尊重できる人材を育成する。 ディベートスクール（授業） 年12回（月2回） 国際交流カフェ 6回 競技ディベート大会 1回			・ディベートスクール参加者の満足度 90% ・留学生との交流参加者の満足度 70% 【撤退基準】 50%未満の場合には事業を再構築する。			
				前年度までの実績			
		平成26年度新規事業 ディベートスクール 平成26年9月開始 国際交流カフェ 平成26年10月開始 競技ディベート大会 平成27年3月					
中間振り返り	業績目標の達成状況		① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①: 目標達成（見込）(i) 取組は予定どおり進捗 (ii) 取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成（見込）(i) 取組は予定どおり進捗 (ii) 取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成			—			
	戦略に対する取組の有効性		—	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定（未測定）			
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	ディベートスクール開催: 12回 国際交流カフェ 開催: 6回 成果発表会（協議ディベート大会）開催: 1回			—			
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	ディベートスクール参加者の満足度 94% 留学生との交流参加者の満足度 98%		① (i)				
	①: 目標達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成			—			
戦略に対する取組の有効性		○	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定（未測定）				

具体的取組 2-1-6

【スポーツを通じた人材の育成】★

		25決算額	—	円	26予算額	—	円	27予算額	578千 円
計画	取組内容				業績目標（中間アウトカム）				
	子どもが夢に挑戦する意欲をかきたて、チャレンジ精神あふれる人材の育成を図るために、区内の公立中・高校生がスポーツの分野で成功を収めた方（元プロ選手など）から部活動において身近に指導を受ける機会を提供する。				生徒の満足度 80% 【撤退基準】 50%未満の場合には事業を再構築する。				
	年間12回程度 1回あたり2～3時間程度の指導				前年度までの実績 平成27年度新規事業				
中間振り返り	業績目標の達成状況		① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成			—					
	戦略に対する取組の有効性		—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績				課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	レジェンド・イン・ハイスクールとして指導を受ける機会を提供:11回(うち特別編1回)				—				
	業績目標の達成状況				改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	生徒の満足度 99%			① (i)	—				
①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成									
戦略に対する取組の有効性			○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)					